

国土交通省 令和2年度事故防止対策支援推進事業（助成金）
東海電子（株）IT点呼システム・遠隔地IT点呼システム 2製品が認定

飲酒運転根絶および交通事故ゼロ社会に向けて安全システム機器を開発する東海電子株式会社（本社：静岡県富士市 代表：杉本 哲也）は、このたび、令和2年度の国土交通省による事故防止対策支援推進事業『過労運転防止に資する機器』に、2製品が認定されましたことをお知らせいたします。

1) 過労運転防止機器としてのIT点呼システム・遠隔地IT点呼システム

昨今、バス、タクシー、トラック等、運輸業界において、健康起因事故が増えています。

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/azen/03safety/resource/data/r1seminar002.pdf>

このため国土交通省や全日本トラック協会では、バス・タクシー・トラック等、プロドライバーの過労運転防止のため補助金（助成金）制度を設けています。トラック・バス・タクシー事業者向けには、従来からIT点呼および遠隔地IT点呼が運輸安全規則上認められています（バス・タクシーは遠隔地IT点呼のみ）。これらITを活用した遠隔地点呼機器は、ここ数年、過労運転防止に資する機器として位置づけられ、導入促進のため国土交通省により補助金が交付されています。

2) 東海電子（株） 認定品

本年6月に機器の募集が行われ、当社からは昨年に引き続き、以下2製品が採択されました。

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/azen/subcontents/data/karoukiki-ichiran1.pdf>

<p>IT点呼システム『Tenko-PR02』 https://www.tokai-denshi.co.jp/products/tenko_pro.html</p>	<p>業務用クラウド型動画点呼システム『テレ点呼』 https://www.tokai-denshi.co.jp/products/Tele-Tenko.html</p>
	

補助額や補助残額につきましては、以下国土交通省の助成金特設サイトをご参照ください。

<https://www.mlit.go.jp/jidosha/azen/subcontents/jikoboushi.html>

なお、今年から、昨今の政府の施策にならい、代表者印や捨印等の押印を省略することができる電子申請が行われています（省略した場合で記載間違いがあった場合差し替え等の対応が必要になるので正確に記載することとされています）。

https://www.mlit.go.jp/jidosha/azen/subcontents/el_application.html

★★本件に関するお問い合わせ先、資料請求先★★

東海電子株式会社

〒190-0012 東京都立川市曙町 2-34-13 オリンピック第3ビル 203号室

e-mail : info@tokai-denshi.co.jp

URL : <http://www.tokai-denshi.co.jp>

過労運転防止のための機器導入に対する 補助制度が開始されます

申請期間は令和2年10月29日(木)～12月18日(金)

国土交通省では、自動車運送事業者が先進的な機器の導入により、運転者の過労運転を防止し、居眠り運転等を原因とする重大事故を防ぐため、以下の要件を満たす機器購入に対し、購入額の一部を補助する制度を実施いたします。

補助内容

○補助対象機器

- ①ITを活用した遠隔地における点呼機器
- ②運行中における運転者の疲労状態を測定する機器
- ③休息期間における運転者の睡眠状態を測定する機器
- ④運行中の運行管理機器

○対象経費

上記機器及び付随する機器(情報が記録できる電子媒体等)の導入に係る経費
※パソコン、プリンター、スマートフォン等は補助対象外

○補助率

取得に要する経費の1/2

※②運行中における運転者の疲労状態を測定する機器 及び ④運行中の運行管理機器 については、機器等に上限額がある場合がございます。

- (注意) 1. 申請にあたっては、予め国土交通大臣が選定した機器を導入し取付を行ったうえで支払いまで終了(事業完了)したものが対象となります。
2. 1申請者あたり80万円を限度に、交付を行います。
3. 補助事業完了後、国土交通省より補助事業実施等にかかる調査を行う場合には、当該調査に全面的にご協力いただきます。
4. 同一事業において、国が実施する他の補助金は受けられません。

対象機器

◎国土交通大臣が選定した機器

申請期間と申請方法

- 申請期間:2020年10月29日(木)～12月18日(金)
- 受付時間:平日の9:00-16:00(12:00-13:00を除く)
 - 注意** 補助金の申請受付期間中の申請状況において予算額を超過することが見込まれる場合には、受付を締め切ることとし、その旨を速やかに公表します。
(公表場所:<http://www.mlit.go.jp/jidosha/enzen/subcontents/jikoboushi.html>)
- 申請方法:最寄りの地方運輸局等の受付窓口へ書類を持ち込んでいただくか、電子申請システム(「jGrants」の申請ページURL: <https://jgrants.go.jp>)によりご提出ください。
 - 注意** ・郵送による提出は認められません。
・jGrantsを利用するには、事前にgBizIDプライムの取得が必要です。
- 申請書類
窓口持込みの場合:国土交通省ホームページよりダウンロードしてください。
原本1通とコピー4通、合わせて5通ご提出ください。
電子申請の場合:電子申請マニュアルを参照ください。

申請の流れと申請書類

① 交付申請書兼実績報告書の提出

事業完了後、上記申請方法により交付申請書兼実績報告書を提出してください。

② 交付決定及び額の確定通知の送付

国土交通省より交付決定及び額の確定通知が届きます。

③ 補助金振込

注意事項

- 補助金交付申請にあたり、受付担当者から書類の不備等の指摘を受けた場合には、指摘を受けた日から1週間以内に不備等を補完してください。
- 申請手続きに不正が認められた場合には、当該交付申請書を取り下げいただき、以後の申請を受理しない場合があります。

過労運転防止認定機器一覧

①ITを活用した遠隔地における点呼機器

機器名称(型式)	機器の概要	メーカー(問合せ先)	見本
1 デジタル点呼マネージャー	<p>物流会社の関連企業が作った”業務を知っている”システムです。</p> <p>【特徴2】 PCやスマホを使ったIT点呼や対面点呼など”様々な点呼パターンに対応”しています。</p> <p>【特徴3】 点呼業務だけでなく”車両管理業務”や”運転手管理業務”にも対応”しています。</p> <p>【特徴4】 バイタルセンシングによる”ドライバーの体調も見える化”します。</p> <p>【特徴5】 全ての情報をクラウドで一元的に管理。ダッシュボードやアラート発信など管理者やマネジメント向けの”気の利いた機能”を持っています。</p> <p>(https://dtenko.jp/)</p>	(株)インフォセンス (03-6629-9725)	
2 IT点呼くん (SITCALL00-01)	<p>以下の3つのポイントで『対面から遠隔へ』新しい点呼方法を実現します。</p> <p>●ポイント1 (リアルタイムで遠隔点呼) Webブラウザを利用し、運行管理者がパソコンのカメラを利用して運転者の疾病・過労・睡眠不足等の状況を動画で随時確認できます。</p> <p>●ポイント2 (点呼記録を一括管理) ・乗務前点呼、中間点呼、乗務後点呼の記録を簡単に作成でき、点呼記録の内容を一覧で確認できます。 ・端末のGPSによる場所の確認ができ、点呼の状況は動画として保存することができます。(保存期間は1年以上)</p> <p>●ポイント3 (わかりやすい操作画面) ・確認項目が予め決まっているので、事業所・営業所間での点呼方法・点呼内容のバラツキ防止につながります。 ・指摘事項や必要事項の定型文登録も簡単に行うことができ、メンテナンスしやすい設計です。</p> <p>(http://www.nce.co.jp/service/product/it-call/)</p>	(株)NCE (024-937-1050)	
3 Cagou IT点呼 (カゴウ)	<p>●特長1:クラウド利用 スマートフォンとアルコールチェッカーがあれば、運転手がどこにいても点呼が可能。</p> <p>●特長2:なりすまし防止 顔認証、機器認証技術で、不正利用を防ぎます。</p> <p>●特長3:対面・電話点呼対応 対面点呼、電話点呼も一つの画面で簡単に登録できます。</p> <p>●その他の特長 ・アルコールチェッカーと自動接続 ・免許証確認 ・点呼記録簿出力 ・他システムとの連携</p> <p>(https://www.core.co.jp/service/iot/cagou-alc/)</p>	(株)コア (06-6568-9450)	
4 ALC Guardian NET	<p>遠く離れた事業所とリアルタイムでIT点呼が可能。営業所に設置したアルコール測定器とも連動している為、リアルタイムでアルコール測定結果を管理者のPCに送信し、且つ動画にてIT点呼を実施出来る。執行者の切り替え機能等、便利な機能を搭載し、対面点呼との測定結果も一元管理でき、点呼記録簿の出力も可能。</p> <p>(http://st-alc.com/products/alc_guardian_net.html)</p>	サンコーテクノ(株) (0120-071-735)	
5 デンナプスIT点呼システム (Disynapse IT-RC)	<p>24時間Webカメラ、マイクなどのIT機器を用いてIT点呼実施営業所、被IT点呼実施営業所それぞれが、相手の状況を確認しながら点呼を動画として記録可能としたシステム。点呼した内容は保存され、点呼記録簿の印刷(全日本トラック協会で提示している様式に準拠)が可能。</p> <p>(http://www.jyot.co.jp/itrc.html)</p>	(株)情通 (022-748-0788)	

6	IT点呼キーパー (ITK-CSM)	<p>対面点呼、電話点呼、IT点呼、スマートフォンを利用した点呼が全て行える「総合クラウド型点呼システム」です。</p> <p><ポイント1> 画面操作が簡単で使いやすい。 -大きなボタンと分かりやすい画面設計 -アルコールチェックも簡単 -運行管理者⇄ドライバーの切替可</p> <p><ポイント2> 点呼記録がweb上で確認でき、点呼簿も簡単に作成できます。</p> <p>-点呼簿が簡単に出力可能 -免許証情報を簡単に確認</p> <p><ポイント3> 導入時に専用機器が不要です。 -必要機器はパソコン・webカメラ・アルコール検知器等、標準のインターネット環境のみ (https://www.ittenko-keeper.com/)</p>	<p>テレニシ(株) (0120-105-447)</p>	
7	IT点呼システム Tenko-PRO2 (9040-8200)	<p>離れた場所に居る運転者と運行管理者等をパソコン間でオンライン接続し、音声・映像による点呼を行うシステムです。音声と映像を用いて点呼に必要な確認、指示、伝達事項、指導を実施することが可能となります。また、これらの内容は電子的なデータとして保存することが出来る為、電子点呼記録簿として運用出来ます。(https://www.tokaidenshi.co.jp/products/tenko_pro.html)</p>	<p>東海電子(株) (0120-609-100)</p>	
8	業務用クラウド型 動画点呼システム テレ点呼 (9032-5000)	<p>離れた場所にいる運転者と運行管理者等をスマートフォンとパソコン間でオンライン接続し、音声・映像による点呼を行うシステムです。音声と映像を用いて点呼に必要な確認、指示、伝達、指導を実施することが可能となります。また専用のアルコール検知器を用いて測定したアルコール測定結果はクラウドサーバー上で確認可能です。https://www.tokaidenshi.co.jp/products/Tele_Tenko.html</p>	<p>東海電子(株) (0120-609-100)</p>	
9	Navisia IT点呼サービス	<p>・クラウド型IT点呼システム ・静脈認証で簡単ログイン(パスワードログインも可能) ・ドライバー操作は、全てタッチパネルで可能 ・血圧/体温測定、アルコールチェック後に運行指令の確認を含む点呼を実施 ・点呼簿自動作成 (https://www.navassist.co.jp/products/service/it_tenko.html)</p>	<p>(株)ナブアシスト (027-372-3455)</p>	
10	アルキラー Plus アルキラーW	<p>iPhone・Android対応のスマホ運動型アルコールチェックシステム。「日時」・「検知結果」・「検知中の写真(動画)」・「GPS位置情報」をクラウドで一元管理できます。 また、タブレット端末やパソコンのテレビ電話機能(Zoom・Skype・FaceTime等)を組み合わせて、IT点呼としてもご利用いただけます。 (https://pai-r.com/product/alkillerplus/)</p>	<p>(株)パイ・アール (06-6948-8011)</p>	
11	WebSERVE/物流統合 ソリューション(IT点呼) (A296CP4P)	<p>IC免許証リーダーや動画カメラ・アルコール検知機(選択可)を用いてパソコンにより、対面点呼やリアルタイムに互いの映像・音声(自動録画)でのIT点呼が実現。自動取得の呼気アルコール数値や会話状況、映像により、運転手の健康・疲労状況を確認でき、確実な点呼が可能。点呼結果は一元管理し、点呼記録をいつでも検索・参照・印刷できます。 (https://www.fujitsu.com/jp/solutions/industry/logistics/product/delivery/webserve-h183/)</p>	<p>富士通(株) (03-6712-3734)</p>	